

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：地域高規格道路 熊本天草幹線道路 一般国道57号 宇土道路		事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 九州地方整備局
起終点：起点：熊本宇土市城塚町 終点：熊本県宇土市上網田町		延長	6.7km
事業概要： 国道57号宇土道路は、熊本都市圏と天草地域を結ぶ広域ネットワークを形成することにより物流効率化など産業活動を支援するとともに、国道57号の特殊通行規制区間などの危険箇所の回避、交通混雑の緩和や多発する交通事故の低減に寄与するものである。			
H21年度事業化	H一年度都市計画決定	H一年度用地着手	H一年度工事着手
全体事業費	約257億円	事業進捗率	0.5%
計画交通量	13,500台/日		
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.2 (残事業) 1.3	総費用：(残事業)/(事業全体) 185/187億円 〔事業費：173/175億円〕 〔維持管理費：12/12億円〕	総便益：(残事業)/(事業全体) 232/232億円 〔走行時間短縮便益：166/166億円〕 〔走行経費減少便益：38/38億円〕 〔交通事故減少便益：29/29億円〕
感度分析の結果： 【事業全体】 交通量：B/C=1.2~1.3 (交通±10%) 【残事業】 交通量：B/C=1.2~1.3 (交通±10%) 事業費：B/C=1.1~1.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.1~1.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間±20%)			
事業の効果等 ①災害に強いネットワークの形成 ・特殊通行規制区間(越波L=4.0km)の代替路の確保 ・通行止めの際の迂回解消 ②交通混雑の緩和 ・国道57号の通過交通が減少 ③交通安全性の向上 ・国道57号の死傷事故件数が減少 ④救急医療活動の支援 ・天草地域から高次救急医療施設までの救急搬送を支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮			
関係する地方公共団体等の意見 ・天草市をはじめとする関係5市1町の首長等で構成される熊本天草間幹線道路整備促進期成会より毎年早期整備の要望を受けている。(平成23年7月)			
県知事の意見： 本道路は県内の広域高速ネットワークを形成する地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を担い、熊本県の道路整備に関する中長期計画における「90分構想」を実現するために必要な道路です。 また、物流の効率化や地域の活性化を促進する重要な道路であり、本県の総合計画「くまもとの夢4年戦略」において、「品格あるくまもと」づくりのため重点的に取り組む施策として位置付けています。 以上のことから、「対策方針(原案)」案の「継続」については異論なく、今後とも、なお一層の事業推進をお願いします。			
事業評価監視委員会の意見 ・審議の結果、事業継続			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・並行する国道57号の交通量は増加傾向にあり、依然として混雑度も高い。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成22年度末事業進捗率は事業費ベースで約0.5%である。			

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるよう、引き続き調査計画の実施と用地買収着手に向けて事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

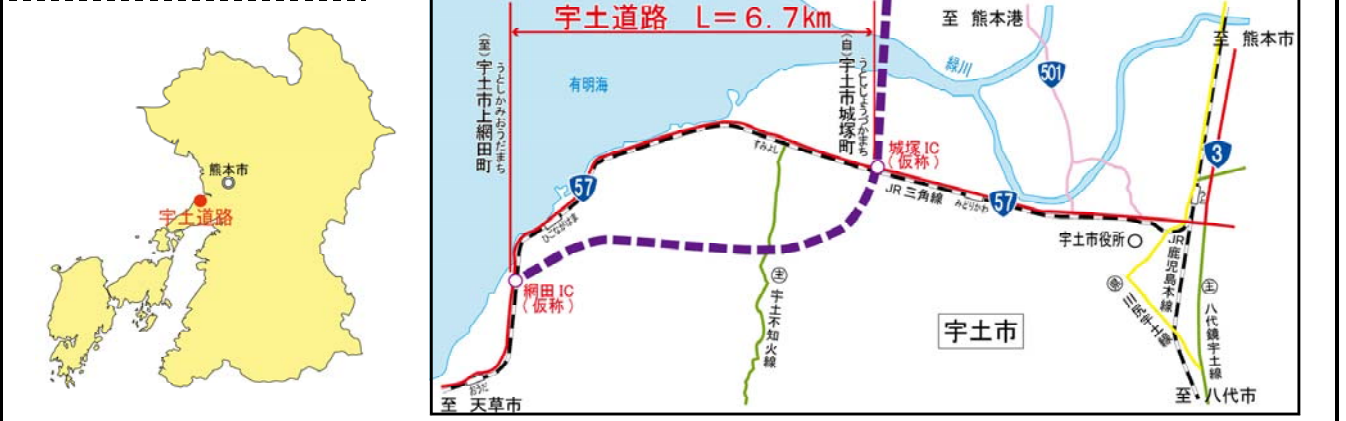
・新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策などによる、着実なコスト縮減

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

・以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。